

学びをひらく、支援をつなぐ — 研究と実践から考える日本語学習環境 —

日本の学校文化は、 なぜ外国人家庭に伝わらないのか

— PAPAMAMA-TOMO から考える、外国人とともにつくるコミュニティ —

登壇者

李 曉燕 先生

九州大学共創教育推進センター教授。博士(知識科学)。
主著に『学校プリントから考える 外国人保護者とのコミュニケーション』(編著・くろしお出版)、『「多文化グループワーク」による言語と文化の創造学習——知識科学の視点から見るアクティブ・ラーニング』(ココ出版)など。



発表要旨

日本の学校には、持ち物や行事、PTA活動など、日本人には当たり前でも十分に説明されない慣習や前提が数多くあります。そのため、外国人保護者は日本語を理解できても、どう行動すればよいのか分からないことがあります。本講演では、学校プリントの調査から見てきた「見えない壁」を明らかにします。そのうえで、学校プリントの内容をやさしく解説する「PAPAMAMA-TOMO」を体験していただきます。さらに、誰もがコミュニティの一員として参加できる社会のあり方をともに考えます。

日時・場所

日付：2026年11月25日(水)

時間：15:00～17:00

場所：オンライン(ZOOM)

参加費：無料

参加登録はこちらから
(Google Form が開きます)

